

新公開史料展

『福島県歴史資料館収蔵資料目録』第51集に収録され、新たに公開となった信夫郡下鳥渡村（現福島市下鳥渡）ゆかりの「下鳥渡区有文書（その一）」と伊達郡掛田村（現伊達市霊山町）ゆかりの「今村文直家文書」、伊達郡山戸田村（現伊達市霊山町）ゆかりの「丹治昭夫家文書」を展示し、各文書群の魅力と特徴的史料を紹介します。



陸奥國信夫郡下鳥渡村繪圖

〔文政〕7年（1824）6月 下鳥渡区有文書（その一）242

下鳥渡村の全図で、下が北にあたる構図です。南西部に山林（緑色）が広がり、中央から北東部に田地（黄色）が展開しています。河川・用水の流路や陽泉寺などの寺社、稲荷山古墳などの史跡や巨木などが丁寧に描かれています。



差出申請書之事

天保12年（1841）2月 下鳥渡区有文書（その一）272

下鳥渡村の若者らが博奕の見廻り目付役を務めた際に村へ提出した誓約書です。博奕取締と見逃した場合の罰金を誓っています。若者の行動力は制御できない怖さもありましたが、彼らを上手に取り込み村の運営に活かしました。



萬國渡海年代記 全

〔嘉永以降〕 今村文直家文書 21

過去に日本に渡来した諸外国について、鎌倉時代から順に記した板本です。嘉永6年（1853）のペリー来航以降、外国（とくに西洋諸国）に対する関心や警戒が高まり、こうした書物が多数出版されました。



〔消防組写真〕

大正12年（1923）10月17日 丹治昭夫家文書 147

丹治家の先祖が小頭をつとめた石戸消防組の記念写真です。保原町（現伊達市保原町）の小野写真館が撮影し、齋藤巴江編纂・消防図書出版部発行の『福島縣の精華 消防名誉かゝり』（1925年刊）に掲載されました。